



証券コード：4584

Kidswell.Bio

2023年10月 FAQ

2023年 11月9日

バイオで価値を創造する
—こども・家族・社会をつつむケアを目指して—

キッズウェル・バイオ株式会社

お問い合わせ内容	回答
<p>乳歯歯髄幹細胞（SHED）のライセンス契約に向けた取り組みの進捗状況を教えてください。</p>	<p>名古屋大学主導の脳性まひ児を対象とした臨床研究に加え、企業治験開始に向けた準備、自社及び共同研究の進展などを踏まえながら、開発パートナー候補各社との協議を進めています。</p>
<p>GBS-010（ペグフィルグラスチムバイオシミラー）の製造販売承認の取得、ならびに、GBS-007（ラニズマブバイオシミラー）の適応症の追加承認のニュースを2023年9月に発表されましたが、株価は上場来の安値となっています。この状況に関してどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>第18回新株予約権による資金調達の進展に伴って足元の株価は軟調に推移していますが、当該資金によりバイオシミラー事業の更なる成長が見込まれること、また細胞治療事業においても開発が順調が進んでいることから、当社の価値が現在の株価には適切に反映されていないと認識しています。</p> <p>収益基盤事業であるバイオシミラー事業の収益拡大と、細胞治療事業における開発の進捗やパートナー企業との契約締結などを通じて、“事業価値向上の見える化”を進めることで、適切な株価形成に努めていきます。</p>

お問い合わせ内容	回答
<p>御社へ期待して投資を行っていますが、現状の株価は、上場来の安値を更新しています。現在の株価状況を踏まえ、今後の御社の取り組みについて、前向きなコメントを頂きたい。</p>	<p>バイオシミラー事業においては、GBS-010の製造販売承認の取得、ならびに、GBS-007の適応症の追加による収益拡大に向け、安定供給と収益性改善に向けた取り組みを、各パートナー企業と共に着実に進めていきます。また、細胞治療事業においては、名古屋大学主導の脳性まひ児を対象とした臨床研究や企業治験入りに向けた準備、パートナーリング活動を確実に進め、株式市場に向けて情報発信することで“事業価値向上の見える化”に取り組んでいきます。</p>
<p>株価が上場来の安値を更新している状況下、現在進めておられる第18回新株予約権の資金調達は、計画通りの資金が調達できると考えておられますか。</p>	<p>第18回新株予約権による資金調達の進展に伴って足元の株価は軟調に推移していますが、当該資金によるバイオシミラー事業の更なる成長の実現、また細胞治療事業における臨床研究と企業治験入りに向けた準備の進展やパートナーリングの実現を株式市場に向けて情報発信し、“事業価値向上の見える化”に取り組むことで、計画通りの資金調達を達成できるよう努めてまいります。</p>

お問い合わせ内容	回答
<p>株式市場からの信頼回復に向けて、今後どのような取り組みを期待すればよいでしょうか。</p>	<p>バイオシミラー事業の収益拡大、細胞治療事業における臨床研究、企業治験入りに向けた準備やパートナーリング活動などにおいて着実に実績を出し、対面・WEBによる説明会の開催、動画配信等によって分かりやすく伝えていく所存です。</p>
<p>2025年度に黒字化の目標を掲げられておりますが、主にSHEDの研究開発への投資の方針が大きな影響を与えると推測しています。臨床試験の実施には多額の投資が必要だと思いますが、開発パートナー企業と提携された場合は、開発パートナー企業が研究開発費を負担するという認識で正しいでしょうか。</p>	<p>開発パートナー企業との提携後は、当該パートナー企業が臨床開発を実施することとなり、当社の開発費負担は軽減されることを想定しています。引き続き、名古屋大学主導の脳性まひ児を対象とした臨床研究に加え、企業治験開始に向けた準備、自社及び共同研究の進展などを踏まえながら、開発パートナー候補企業各社との協議を進めていきます。</p>
<p>地方都市の株主を考慮して、対面による説明会での質問の受付だけでなく、WEBによる説明会での質問応対を行ってほしい。</p>	<p>対面・WEBに関わらず、株主様との対話の機会を設けるよう、引き続き、検討を進めてまいります。より多くの株主様にご参加いただけるよう、都市部と地方都市での開催を組み合わせて検討しております。</p>

お問い合わせ内容	回答
<p>現在、第18回新株予約権による資金調達を実施されているため、一定程度の株価低迷は避けられない状況と理解しています。一方、この状況下だからこそ、IR活動の強化、ニュース発信を積極的に行われるべきだと思いますが、御社としてどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>当社は、透明性の高い情報発信を基本方針とし、公表可能な情報は、法令・規制を遵守しながら、パートナー企業やアカデミアなどの共同研究、共同開発先との調整に基づき、適時適切なタイミングでの公表に努めております。</p>
<p>2023年9月28日開催の個人投資家説明会の資料について、32ページに「数年で製造資金を上回る利益が得られる」と記載されております。資金調達予定額の30億円は数年後には利益として回収出来るという理解で正しいでしょうか。また、利益とは当期利益のことでしょうか。</p>	<p>第18回新株予約権による調達資金は、GBS-007の製造費用に充当され、当該製品のパートナー企業への納品後に一定程度の利益と共に回収されます。製造と納品を繰り返すことで、当該利益が積み重なり、累計では調達資金以上の利益を得ることができます。なお、利益とは決算上の当期純利益ではなく、売上から原価を差し引いた利益のことを指します。</p>
<p>幹細胞は美容業界で用いられ注目されていますが、SHEDを美容用途へ用いることは考えておられますでしょうか。</p>	<p>当社の取り組みは、SHEDを活用した医薬品の創出です。美容用途への活用は当社の戦略領域ではないため考えておりません。</p>

KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になること、こどもが力になれること

Kidswell.Bio



本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。